

多くの人とのかかわりの中で、人生における重要な一節(Passage)を描いていく。

2026
VOL.41

PASSAGES

経営学部のグーなヤツ...01

[1部経営学科.....表彰学生] 西谷 佳子 さん
[1部経営情報学科.....表彰学生] 稲岡 大地 さん
[2部経営学科.....表彰学生] 星野 晃汰 さん

入試・入学者データ...03

[2026年度]

就活Labo...04

・2025年度進路実績
・2025年度卒業生就職先一覧
・学生の就職活動報告

ゼミなび...09

うちのゼミはどんなゼミ?

豊平シンクタンク/ 科研費...22

教員研究業績一覧...23

[2025年度]

経営学部教員・職員一覧...25

[2026年度]

Information...27

Global Activity

海外に学ぶ!
海外で学ぶ!

海外総合実習07



Passagesには、経営学部生の様々な学習経験を支え、学生、教員さらには
産業界との相互対話を促す窓という意味がこめられています。



北海学園大学経営学部
<https://ba.hgu.jp>



2025年度卒業生

表彰学生の位置づけ

北海学園大学では、卒業式を挙行するにあたり、各学部学科の卒業生の中から表彰学生を1名選出しています。経営学部では、各学科の成績優秀者（GPAが上位の学生3名）をもって表彰学生としています。ここでは、表彰学生の中から、大学生生活の思い出や面白かった講義などについて、1部2名・2部1名に声を寄せてもらいました。

経営学部の
グッドなヤツ

過去の表彰学生一覧（過去5年分）

1部 経営学科

表彰学生

卒業年度	氏名	出身高校	所属ゼミ
2020年度	菊地 はるな	札幌藻岩	伊藤
2021年度	山口 桃佳	札幌西	大平
2022年度	阿部 理子	札幌啓北	近藤
2023年度	高橋 美緒莉	池上学院	近藤
2024年度	宮崎 悠	札幌手稲	金

1部 経営情報学科

表彰学生

卒業年度	氏名	出身高校	所属ゼミ
2020年度	本間 綾香	帯広緑陽	大石
2021年度	窪田 美紅	札幌第一	浦野
2022年度	佐藤 大河	岩見沢東	内藤
2023年度	近藤 遼河	札幌清田	福永
2024年度	藤澤 桃佳	帯広南商業	今野

2部 経営学科

表彰学生

卒業年度	氏名	出身高校	所属ゼミ
2020年度	狩野 圭祐	恵庭北	—
2021年度	大石 和恵	滝川西	菅原秀
2022年度	前川 紗耶華	飛鳥未来	古谷
2023年度	阿部 朋果	伊達開来	中村
2024年度	木下 優里菜	苫小牧総合経済	—

経営学部 2025年度 卒業生データ

卒業生数 ■ 1部…307名 ■ 2部…90名

卒業延期者数 ■ 1部…24名 ■ 2部…25名

卒業延期率 ■ 1部…7.3% ■ 2部…21.4%

1部経営学科 表彰学生

西谷 佳子 さん

所属ゼミ：進藤ゼミ

出身高校：高等学校卒業程度認定試験

卒業後の進路：データサイエンティスト



大学生生活の思い出

入学当初はまだコロナ禍の最中で、講義もオンライン講義中心でした。部活・サークルにおいても目立った活動はしておらず、当初は特に目的のない大学生活を送っていました。しかし、大学の講義を通じて心理学や統計学に興味を持ったことから、関連する資格の勉強をするようになりました。さらに、読書やゲームなど、時間がある大学生活だからこそできる趣味にも没頭しました。勉強だけではなく、大学生活で行ったすべての活動が今の私の財産となっています。このように、大学の講義をきっかけにして、自ら有意義な大学生活を作り出すことができました。能動的にとりあえず何にでも挑戦してみる気持ちが良い方向に働いたと思います。

好成绩の秘訣ないし面白かった講義

何事にも早く手をつけることが好成绩に結びついたと思います。まず、授業への出席を怠らず、先生の話の細かなことも聞き逃さない姿勢が大切だと思います。テスト前に焦らないよう、日ごろから積み重ねることが必要と考えます。また、課題も余裕をもって早めに終わらせるように心がけていました。私は課題を溜めると焦りで落ち込んでしまう性格なので、計画的な姿勢で取り組むことが向いていたのだと思います。特に私が面白いと感じた講義は、一般教育科目の統計学です。統計学を学ぶことで世の中を冷静に客観視できるようになったと思います。また、この講義を受けたことをきっかけに、統計検定を受験し、データサイエンティストという進路を選ぶことになりました。非常に影響を受けた科目です。

卒業に際して思うこと

大学入学前、私は充実した高校生活を送ることができていませんでした。久しぶりに毎日授業を受ける生活となり、初めはとても不安でした。しかし、たくさんの素敵な友人や先生方に巡り合い、そのおかげで卒業までがあったという間でした。最初から成績優秀者を目指していたわけではありませんでしたが、友人たちの努力する姿に影響を受け、好成绩で卒業することができました。ときには苦勞することもありましたが、互いに支え合いながら学生生活を乗り越えられたと思います。これから社会人となり、北海道を離れます。しかし、この大学生活4年間で得たスキルや人脈は間違いなく私の人生の基盤になるでしょう。今後も努力を怠らず、常に成長していきたいです。



稲岡 大地 さん

所属ゼミ：浦野ゼミ
出身高校：札幌第一
卒業後の進路：北海道電力株式会社



大学生生活の思い出

入学当時はコロナ禍であり、ほぼすべての授業がオンラインだったという印象が強く残っています。その後、時間が経つにつれて大講堂で多くの学生とともに対面授業を受ける機会が増え、想像していた大学生生活を送れるようになりました。サークル活動やアルバイトを通して徐々に人との関わりが増え、これまで知らなかった世界に触れながら新たな人間関係を築くことができました。

中でも印象に残っているのは、ゼミ活動で外国人留学生や移住者の方々と関わった経験です。活動内では町内会とも連携し、若者と高齢者、日本人と外国人が交流できる場をつくることができました。国や言語の垣根を越えた関わりは、自分の世界を広げる貴重な経験になったと感じています。この経験を通して、大学生生活では自ら行動することで新しいつながりや学びが生まれることを実感しました。

好成绩の秘訣ない面白かった講義

私が好成绩を維持するうえで大切にしてきたのは、「自律的に学びに向き合い、慎重に準備すること」です。講義を選択する際には、シラバスや先輩の話などから情報を集め、講義内容や評価方法を理解したうえで履修を決めていました。事前に理解を深めることで、関心を持った状態で主体的に学び続けることができていると考えているからです。

また、課題や試験では、求められている評価基準を意識しながら取り組むことを心がけました。具体的には、課題は早めに提出すること、疑問点をそのままにせず理解を深めること、レポートの構成を意識してまとめることなど、一つ一つの課題に確実に向き合うよう努めてきました。自分の理解を確かめながら着実に積み重ねていく姿勢が、結果として安定した成績につながっていると感じています。

卒業に際して思うこと

大学4年間という時間は長いようで、一瞬のように過ぎ去りました。1年次はコロナ禍にあり、3・4年次は就職活動が中心となるなど、思うように自由な時間を使えない場面も多かったです。大学生活では、自ら行動しなければ新しい経験や機会を得ることはできません。限られた時間の中ではありましたが、私自身も後悔のないよう有意義に過ごしてきたつもりです。しかし、振り返ってみると、挑戦してみたかったことややってみたかったことは次々と思ひ浮かび、どれだけ取り組んでも時間が足りないと感じます。だからこそ、大学生活の中で学んだ「自ら行動する姿勢」を大切にしながら、社会人になってからもさまざまなことに挑戦し続けていきたいと考えています。

星野 晃汰 さん

所属ゼミ：中村ゼミ
出身高校：遠軽
卒業後の進路：札幌市役所



大学生生活の思い出

私の大学生活での一番の思い出は、友人との出会いです。いつも一緒に講義を受けていた友人の存在があったからこそ、大学生活は楽しく思い出深いものになりました。講義を共に受けるだけでなく、旅行に行ったり食事に行ったりするなど多くの時間を過ごす中で、自然と仲が深まりました。

また、一人暮らしをしていた私にとって、体調を崩した際にお見舞いに来てくれたり、辛いことがあったときには励ましてくれたり、そっと見守ってくれたりした友人の存在は大きな支えでした。これから社会人としてそれぞれの道に進みますが、大学で出会った友人たちとの思い出やつなかりをこれからも大切にしていきたいと思っています。

経営学部に入ってよかったと思うこと

私が経営学部に入ってよかったと思うことは、自分自身で考える能力を養うことができた点と、働くうえで役立つ知識や経験を得ることができた点です。経営学部では実践的なゼミや講義が多く、人前でプレゼンテーションを行う機会や、社会で活躍されている方々のお話を聞く機会が多くありました。私自身、地域の課題に向き合う講義では、解決策を考えて発表し、教授からのコメントを受けて改善を重ねました。その中で、自分なりに考える力や外部に発信する力を養うことができたと感じています。また、ゼミ活動の一環でラジオに出演するなど様々な経験をすることができました。こうした経験は就職活動にも活きたと感じており、今後社会人として働くうえでも役立つと考えています。

卒業に際して思うこと

感謝、後悔、期待、不安など、多くの感情が入り混じっています。将来のことを早い段階から考えておけばよかったという後悔や、これから働くことへの期待と不安など、様々な思いがあり、とても一言では言い表すことができません。

ただ、大学生活はあっという間の4年間であり、嬉しいことや楽しいことだけでなく、悩んだり大変だと感じたりすることもありました。その一つ一つの経験が今の自分の成長につながっていると感じています。

また充実した大学生活を送ることができたのは、これまで支えてくださった先生方や大学職員の方々、友人、家族のおかげだと実感しています。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

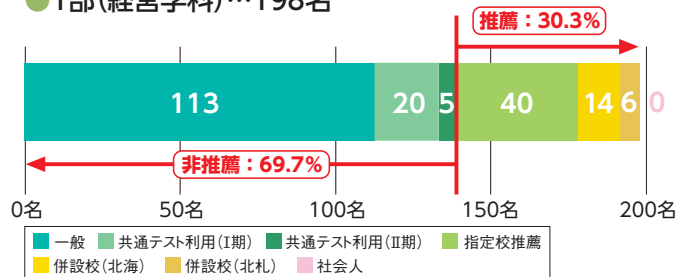
大学での学びや出会いを大切にしながら、社会人としても成長していきたいと思っています。



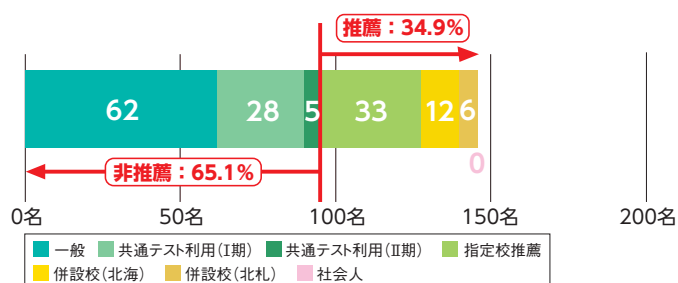
入試・入学者データ [2026年度]

入学者分類

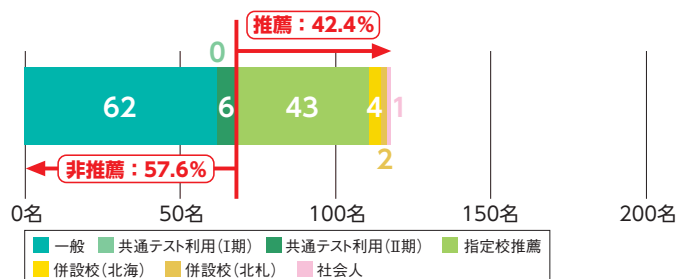
●1部(経営学科)…198名



●1部(経営情報学科)…146名



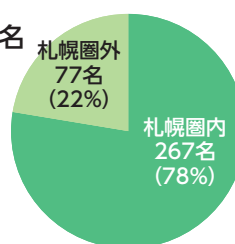
●2部(経営学科)…118名



入学者の出身地域

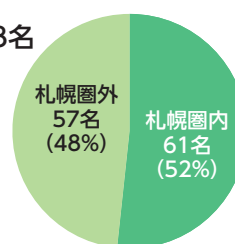
●1部

344名



●2部

118名



札幌圏内

札幌圏外



経営学部で10名以上入学の高校

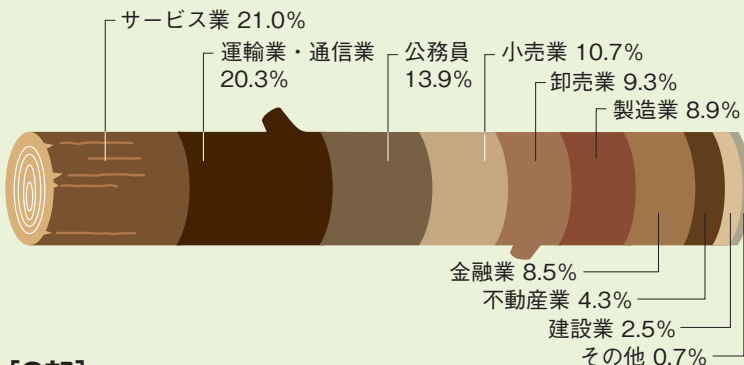
高校名	1部	2部	合計
北海	28	4	32
札幌北陵	24	2	26
北海学園札幌	13	2	15
札幌啓成	15		15
札幌光星	11	4	15
札幌藻岩	14		14
大麻	8	3	11
小樽潮陵	11		11
札幌平岸	9	2	11
札幌白石	10	1	11
札幌清田	9	1	10
札幌新川	9	1	10
札幌月寒	10		10
札幌国際情報	7	3	10



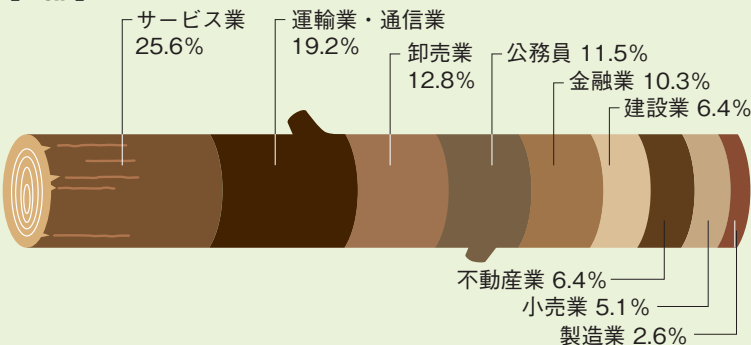
北海学園大学の卒業生は、道内外を問わず各企業で高い評価を得ており、就職活動において多くの企業から内定を得ています。特に、経営学部卒業生は、幅広い業種の企業から求められており、数多くの経営学部卒業生が、企業の第一線で活躍しています。就職以外にも大学院への進学や公認会計士、税理士といった資格試験への挑戦、あるいは海外留学などの形で、目標を実現する卒業生もいます。

■ [2025年度] 業種別就職状況

[1部]



[2部]



2025年度 進路実績	1部		2部	
	人数	%	人数	%
卒業生(2022年度入学) 注1	309	100.0%	94	100.0%
進路決定者	286	92.6%	77	81.9%
進路不明者を除いた 進路決定率	—	96.3%	—	89.5%
民間企業	243	78.6%	68	72.3%
公務員	38	12.3%	9	9.6%
非正規(アルバイト等)	1	0.3%	1	1.1%
その他 注2	2	0.6%	3	3.2%
大学院進学	1	0.3%	0	0%
他大学進学	0	0%	0	0%
専門学校進学	1	0.3%	0	0%
留学	0	0%	0	0%
進路未決定者	11	3.6%	5	5.3%
進学準備中	0	0%	0	0%
公務員・教員受験準備中	5	1.6%	0	0%
就職活動継続中	4	1.3%	2	2.1%
進路未定	2	0.6%	3	3.2%
その他 注3	0	0%	0	0%
進路不明 注4	12	3.9%	8	8.5%

注1：4年間で卒業した2026年5月の進路状況。9月卒業者や留年、卒業延期者は除外。

注2：その他には、起業、現職継続、ワーキングホリデーなどを含む。

注3：その他には、資格取得活動、起業準備、家事手伝いなどを含む。

注4：進路不明は、キャリア支援センターに進路先の届け出がない者。

■ 経営学部 [1部・2部] 就職上位の推移 (各年度3名以上が就職した企業・団体を抽出)

2025年度	
国家公務員一般職 (国土交通省・法務省・厚生労働省)	11
国税専門官	7
株式会社マイナビ	6
札幌市役所(一般事務)	5
株式会社北海道銀行 (ほくほくフィナンシャルグループ)	5
北海道電力株式会社／ 北海道電力ネットワーク株式会社	5
株式会社アインホールディングス	4
第一生命保険株式会社	4
株式会社Wiz	3
北ガスフレアスト株式会社	3
株式会社ケイシー	3
株式会社桂和商事	3
株式会社サッポロドラッグストア	3
東急リパブル株式会社	3
トランスコスモス株式会社	3
日本生命保険相互会社	3
株式会社北洋銀行	3
ホクレン農業協同組合連合会	3
株式会社ベイロール	3

2024年度	
北海道職員(一般行政)	8
株式会社北海道銀行 (ほくほくフィナンシャルグループ)	5
株式会社ニトリ	5
株式会社HBA	4
株式会社ベイロール	4
株式会社セコマ	4
株式会社常口アトム	3
三井不動産リアルティ札幌株式会社	3
株式会社北洋銀行	3
SCSK北海道株式会社	3
北海道警察	3
トランスコスモス株式会社	3
株式会社北海道日立システムズ	3
ホクレン農業協同組合連合会	3
札幌市役所(一般事務)	3
株式会社NDPマーケティング	3
北海道教員	3
株式会社サッポロドラッグストア	3

2023年度	
ホクレン農業協同組合連合会	6
株式会社北海道銀行 (ほくほくフィナンシャルグループ)	5
SCSK北海道株式会社	4
株式会社サッポロドラッグストア	4
株式会社つうけんアドバンスシステムズ	4
株式会社トランスコスモス	4
住友不動産販売株式会社	3
株式会社フェローズ	3
株式会社北洋銀行	3
株式会社北陸銀行	3
株式会社北海道アルバイト情報社	3
北海道信用金庫	3
北海道労働金庫	3



経営学部生の 就職先一覧

表は、2025年度の経営学部卒業生の就職先一覧です。実際に卒業生が就職した企業ですから、ここに掲載されている企業は、**本学あるいは経営学部の学生を採用する意思がある会社であることが分かり、有力な就職先候補と考えることができます。**

表の中には、様々な業種の様々な企業が掲載されています。**一般には知られていなくともその業界では名の通った会社や安定度の高い会社も含まれています。**加えて、道内密着型企业もあります。これら企業のHPを1つ1つ検索し、そのHPを閲覧するだけでも、就職先となりえる候補を新たに見つけだすことができます。

民間企業編

アミューズメントパーク	合田観光商事(パチンコひまわり)、新和、ダイヤモンドヘッド、NDPマーケティング、アルディート	商社(化粧品)	PALTAC
ガス	エネサンス北海道	商社(機械・精密)	ナラサキ産業
ゴム	パナソニックエコソリューションズAWE	商社(建材)	古島、渡辺パイプ
コンサルタント	レイス、インソース、エフアンドエム、ペイロール、VOLLMONTホールディングス、アイドマ・ホールディングス	商社(自動車)	ネットヨタ札幌、スズキ自販北海道、札幌日産自動車
スーパー	イオン北海道株、ロピア	商社(食品)	セイコーフレッシュフーズ、東日本フード、北海道プリマハム
セキュリティサービス	ALSOK北海道、総合警備保障	商社(繊維・織物)	PVHジャパン
ソフトウェア	HISホールディングス、ベニックスソリューション、応研、HBA、HDC、NTTデータ北海道、エス・ケイ通信、エスユーエス、エルアイン、つうけんアドバンスシステムズ、日本システムコンサルタント(北海道支社)、北都システム	商社(総合)	良品計画、Wiz、エフティコミュニケーションズ、トップ、ヤマテコーポレーション
テーマパーク	Thread Cloth	商社(鉄鋼・非鉄・金属製品)	鈴木商会
フィットネス	ベンチャーバンク	商社(電子・電機・情報機器)	ジャパンギャランティサービス、リコージャパン、三菱電機住環境システムズ
フードサービス	タリーズコーヒージャパン、はなまる、ギフトホールディングス	その他商社	シンリョウ、ハピネット、仙台銘板、ISEKI Japan、キムラ、石垣電材(パナソニックグループ)、大丸、日立建機日本
ホテル	星野リゾート、マイステイズ・ホテル・マネジメント、Plan・Do・See、中島公園ホテル合同会社、東急リゾート&ステイ	小・中・高校	学校法人創成学園
リース	共成レンテム、NEXYZ Group、札幌北洋リース	その他の教育・学習支援業	学校法人滋慶学園、モチベーションアカデミア、れんせい
一般(その他)サービス	SBCメディカルグループ、カナモト、シイエヌエス北海道、セガサミーゴルフエンタテインメント、北ガスフレアスト、スタジオヴォルン、プラントエンタテインメント、リクルーティング・デザイン、三井不動産リアルティ札幌、日本郵便(日本郵政グループ)、自営業・家業	証券	リテラ・クレア証券、岡三証券、豊トラスティ証券
印刷・パッケージ	TOPPANホールディングス、プリプレス・センター、大日本印刷、当矢印刷	情報サービス	エヌ・ティ・ティ・データ・カスタマサービス、エレピスタ、セーフィー、CIRCUS、日立システムズフィールドサービス
会計事務所	PwC Japan有限責任監査法人		AMBL、NEC VALWAY、NECネクサソリューションズ、SCSK北海道、アイ・ティ・エス、ウェルネット、CIJ、NTC、エヌ・ティ・ティ・データ・フォース、ダイヤモンドヘッド、トランスコスモス、パーソルビジネスプロセスデザイン、インフォーマート、ブリッジ、I・TECソリューションズ、インテック、エイチ・アイ・ディ、スタイル・フリー、大塚商会、日鉄ソリューションズ北海道、日本アイ・ビー・エム、日本アイ・ビー・エムデジタルサービス、日本電気通信システム、北洋システム開発、富士ソフト、富士フイルムシステムサービス、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン
冠婚葬祭	マสดアプランニング	情報処理	
機械	マキタ、藤商事、日軽パネルシステム	食品	ケイシイシイ
建設	伊藤組土建、カワムラホーム、ジョンソンホームズ、熊谷組、アライ、北海電工、大成温調、大東建託、北ガスジープレックス	信用金庫	北門信用金庫、留萌信用金庫
広告	ディップ、ピーアール・デیلیー、イースト・デیلیー(旧デیلیー・インフォメーション北海道)	新聞	中央出版
自動車	株式会社アスパーク	人材紹介・人材派遣	マンパワーグループ、ライクスタッフィング、NINAITE、ウィルオブ・ワーク、マイナビ、日本パーソナルビジネス、日研トータルソーシング
住宅	ヤマチユナイテッドグループ	政府系・系統金融機関	日本政策金融公庫
その他製造	funbox	生活協同組合	生活協同組合コープさっぽろ
商社(医薬品)	ほくやく	生命保険	ソニー生命保険、第一生命保険、日本生命保険、明治安田生命保険



2部学生 の就職！

2部経営学部の就職先には大手企業や公務員も含まれ、就職実績としての質は1部に負けていません。2部学生の場合には、**講義のない昼間をどう活かすかが鍵**となるようです。例えば、昼間はアルバイトなどにより、自分で学費等をねん出し、夜間は大学でしっかりと勉強するといったようなプランがあれば、自立した学生として高い評価を得るのでしょう。あるいは昼間は部活をし、夜間はしっかりと勉強するといった形での文武両道でもいいのかもしれませんが。いずれにせよ、2部学生は2部学生でいることの意味やメリットを考えて、学生生活を送る必要があるようです。



税理士事務所

BDO税理士法人、吉岡経営センター、税理士法人TAP、
むらぎ経営グループ 税理士法人むらぎ総合事務所、
税理士法人山田アンドパートナーズ

専門店(ドラッグストア・調剤薬局)

クラフト(さくら薬局グループ)、アインファーマシーズ、
アインホールディングス、サッポロドラッグストア

専門店(フード)

モスフードサービス

専門店(家具・インテリア)

MED Communications、ネオコーポレーション、ニトリ

専門店(靴・バッグ)

マザーハウス

専門店(自動車関連)

AGHTヨタ、MID ALFA、
ホンダモビリティ北海道(旧ホンダ四輪販売北海道)

専門店(紳士服)

青山商事

専門店(総合アパレル)

AOKI、カズマ、パル、ユナイテッドアローズ、
未来が驚喜研究所、FREE BIRD

専門店(電器)

ビックカメラ

専門店(総合アパレル)

TOKYO BASE、トゥモローランド

その他専門店

DCM、カチタス、ゲオホールディングス、ラウディ

倉庫

NX・NPロジスティクス

損害保険

損害保険ジャパン、大同生命保険、日新火災海上保険

地銀

北海道銀行(ほくほくフィナンシャルグループ)、
北洋銀行、北陸銀行

調査・研究・シンクタンク

サーベイリサーチセンター

通信関連

JCOM、東名、ドコモCS北海道、ファイバーゲート

電力

日本テクノ、北海道電力・北海道電力ネットワーク

特殊・独立行政法人

日本年金機構

農協

ピンネ農業協同組合、ホクレン農業協同組合連合会、
日高軽種馬農業協同組合、北海道農業協同組合中央会、
幕別町農業協同組合

病院・診療所

医療法人 深仁会

不動産

エイブル、桂和商事、常口アトム、穴吹興産、東急リパブル、
札幌スターツ、住友不動産販売、大成有楽不動産、テンワス

福祉・介護事業

社会福祉法人HOP

法律事務所

ベリーベスト弁護士法人

輸送用機器

函館どつく

陸運

ニチレイ・ロジスティクス北海道、ロジネットジャパン、
北海道丸和ロジスティクス

旅行

JTB、エイチ・アイ・エス

その他団体

公益財団法人 北海道農業公社、北海道健康保険団・連合会

公務員編

国家公務

行政：一般職	厚生労働省、国土交通省、農林水産省、法務省、 防衛省
裁判所職員	裁判所職員
自衛隊	自衛隊一般書候補生

地方公務

都道府県	北海道職員(一般行政、教育行政、警察行政)、 青森県職員
市町村	札幌市役所(一般事務)、網走市役所、伊達市役所、 室蘭市役所、小樽市役所、苫小牧市役所、 函館市役所、利尻富士町役場(宗谷町村会)
消防	苫小牧消防

経営学部は、 公務員になる上で不利？

根拠のなしい噂！

経営学部の学生の多くが民間企業への就職を希望するため、彼らの主たる就職先は民間企業が主となります。しかし、経営学部でも、就職先として国や都道府県庁、市町村を志望する学生は少なくなく、公務員として働いている卒業生もたくさんいます。

2025年度卒業生(過年度生含む)のうち、公務員として47名が4月から働いています。内訳は、国家公務員(一般職)16名、国税専門官7名、裁判所職員1名、自衛隊一般書候補生1名、北海道庁5名、政令指定都市(札幌市)6名、道内市町村7名、消防1名、青森県職員1名、高校教員1名、中学教員1名です。

近年の公務員試験では、①一部の試験区分を除いて、出題の仕方に多様化がみられること、②学力試験の点数だけでなく、面接がより重視されるようになってきていること、③面接では「学生時代に力を入れたこと」といった、学生時代のことや、「それぞれの組織で働く意欲をしっかりと持っているか」、「上司や同僚、部下とともに協調して働けるか」、「市民ときちんとしたコミュニケーションを取ることができるか」といった組織人としての資質が問われています。また、地方公務員においては人物評価を重視する傾向もみられます。そのため、仕事やマネジメント、心理などについて学習する経営学部の学生が、より公務員試験に対応できるようになっているようです。

●道内市町村に対する就職実績(2004年度卒業生から)

旭川市、網走市、青森市、石狩市、岩見沢市、恵庭市、江別市、小樽市、帯広市、北広島市、北見市、釧路市、士別市、砂川市、滝川市、伊達市、千歳市、苫小牧市、名寄市、登別市、函館市、美唄市、深川市、三笠市、室蘭市、紋別市、稚内市、愛別町、足寄町、厚岸町、浦河町、音更町、神恵内村、喜茂別町、共和町、釧路町、黒松内町、訓子府町、標茶町、士幌町、斜里町、新得町、新十津川町、寿都町、鷹栖町、津別町、天塩町、当別町、当麻町、苫前町、豊浦町、中標津町、羽幌町、平取町、別海町、北竜町、幌延町、幕別町、増毛町、真狩村、余市町、利尻富士町

Uターン 就職の 可能性

上の「公務員編」でも説明したように、多くの市町村での採用実績を有しており、これら市町村への就職を果たすことで、地元へのUターン就職は可能となります。

また、経営学部では、信用金庫や信用組合といった地域の金融機関や農業協同組合に対して高い就職実績も有しており、これら企業および団体への就職によっても、Uターン就職を果たすことができます。一般に、地域密着型の企業の場合、それぞれの地域をよく知る地元出身の学生を採用しようという意欲は、より高くなる傾向があります。

●道内信用金庫、労働金庫、信用組合における採用実績(2006年度卒業生からの累積)

旭川信金、網走信金、江差信金、遠軽信金、渡島信金、帯広信金、北空知信金、北見信金、釧路信金、空知信金、大地みらい信金、伊達信金、道南うみ街信金、苫小牧信金、日高信金、北央信用組合、北星信金、北門信金、北海道信金、北海道労働金庫、室蘭信金、留萌信金、稚内信金





研修地：ハワイ州オアフ島

ハワイ大学マノア校は、ハワイ州オアフ島に位置します。オアフ島には州都のホノルル市があり、世界的なリゾート地として有名です。ワイキキビーチを中心に巨大なショッピングセンターがある観光地、ダイヤモンドヘッドやノースショアなどの豊かな自然、ピショップ博物館やパールハーバー博物館など歴史的な施設もあり、多くの見どころがある研修地です。

日本とハワイの企業分析を題材として、英語力の育成だけでなく、経営学の専門知識の涵養、実務的なコミュニケーション能力の習得を目指したプログラムです。具体的には、①世界中の学生が集まる語学研修に参加し、多様な英語に触れる、②企業の比較分析をして、海外の企業文化に出会う、③企業の現場に足を運び、現地企業スタッフの前でプレゼンし、意見交換することで、実際に英語を使う経験をするといったことを行います。



海外総合実習は、第1学期の事前学習、夏休み中の実地研修、第2学期の事後学習の3つに分かれます。

プログラムの体系

事前学習 (4月から7月)

実地研修での成果を向上させるための事前準備のフェーズ

1. 業界分析、企業分析とレポート作成 (日本語)
2. レポートに基づいたプレゼンテーションの準備 (英語)
3. 英語リスニング、スピーキング、ライティングのトレーニング

実地研修

(9月上旬から3週間)

ハワイ大学マノア校
(アメリカ合衆国ハワイ州オアフ島)

事後学習 (10月から11月)

実地研修の成果を確認し、次の目標に向け意識を高めるフェーズ

1. グループワークを通じた実地研修の成果の振り返り
2. プレゼンテーションやレポート作成による成果の確認

年間スケジュール

前年度

- ・説明会 (12月～翌1月)
- ・募集開始 (説明会後)
- ・面接 (2月)
- ・選考結果発表 (3月)

一学期

- ・企業分析
- ・業界分析
- ・レポート作成
- ・企業訪問
- ・プレゼン作成

夏季休業

- ・実習期間
- ・NICEプログラム (語学研修)
- ・現地企業訪問
- ・英語プレゼン

二学期

- ・報告書作成
- ・活動とりまとめ期間
- ・プレゼン作成

KSJとNICEプログラムの紹介



荒川 和輝

・所属ゼミ：中村曉子ゼミ
・出身高校：小樽潮陵
・入学年度：2024年度

海外総合実習は、ハワイ大学での語学研修 NICE プログラムや企業訪問、現地企業への英語プレゼンテーションに取り組む英語と経営学を融合させたプログラムです。

NICE プログラムでは、初対面のクラスメイトと英語のみを使用した授業で集中的に学びました。座学だけではなく現地の人々と交流しハワイの文化を学ぶ機会も多く、実践的な英語力を磨くことができました。また、ホームステイ先ではホストファミリーと食事を共にしながら会話を交わすことが多く、英語で話す楽しさを実感しました。

渡航前には、現地での英語プレゼンテーションに向けて、日本企業への訪問や業界分析などの徹底した事前学習を行いました。その過程ではメンバーと切磋琢磨し合える強い信頼関係を築くことができました。プレゼンテーションを通して、経営課題に対する考え方や視点を養えたことは、非常に貴重な経験になったと感じています。

観光地として知られるハワイとは異なる一面に触れたことは、異文化の中で自分自身を見つめ直す機会になりました。素晴らしい仲間と共に過ごしたこの3週間は、私の人生において大きなターニングポイントになりました。



ハワイ大学マノア校

ハワイ大学の10あるキャンパスのなかで最も古く最大のキャンパスです。100を超える学部、大学院、専門職の学位をもち、運動競技が盛んでNCAA D1に所属しています。また特に、熱帯農業、熱帯医学、海洋学、天文学、電気工学、火山学、進化生物学、比較哲学、比較宗教学などに強みを持つ研究拠点として知られています。(マノア校ホームページより)



UNIVERSITY
of HAWAII®
MĀNOA

実地研修のスケジュール(2025年度)

ハワイ大学のNICEプログラムでは、座学だけではなく、現地の大学生と会話をするインターチェンジや、教室を飛び出してオフキャンパス・アクティビティに出かける機会も用意されています。

24-Aug	日本出国、ハワイ到着（ホストファミリーと対面し、それぞれの自宅へ）	30-Aug	休日、オプションアクティビティ（希望者のみ、参加する校外学習。パール・ハーバーへ。）	6-Sep	休日、オプションアクティビティ（希望者のみでビーチの清掃活動へ！）
25-Aug	ウェルカム・オリエンテーション、クラス分けテスト、キャンパスツアー	1-Sep	オフキャンパス・アクティビティ（クラスごとに学外で英語を使う活動）	8-Sep	オフキャンパス・アクティビティ（クラスごとに学外で英語を使う活動）
26-Aug	クラス発表、授業開始	2-Sep	授業、インターチェンジ	9-Sep	授業、インターチェンジ
27-Aug	授業	3-Sep	授業、フラ・ワークショップ（Nice Program参加者全員で、フラダンスを習いました。）	10-Sep	授業
28-Aug	授業、インターチェンジ	4-Sep	企業訪問、授業、インターチェンジ	11-Sep	授業、インターチェンジ
29-Aug	授業	5-Sep	企業訪問、授業	12-Sep	修了式 @Ala Wai Golf Course Clubhouse（1人1人修了証を受け取りました）

企業訪問と日米企業の比較分析



近藤 葵

・所属ゼミ：浦野研ゼミ
・出身高校：岩見沢東
・入学年度：2024年度

私たちは、ハワイの企業を訪問をするにあたり、事前に日本企業を訪問し、2つのグループに分かれて国内企業との違いや各業界の特徴について調査するグループワークを行いました。具体的には、北海道では札幌グランドホテルと道新アクセス、ハワイのロイヤルハワイアンホテルとスタジオリムハワイの計4社を訪問しました。

ハワイでの企業訪問当日は、英語でプレゼンテーションを行うため、語学力も必要になりましたが、プレゼンテーション用の資料作成では普段の授業で学ぶ経営学の知識を活かすことができ、KSJのプログラムの利点を実感しました。

講義では体験できない外国の企業を直接訪問できたことは貴重な経験であり、さらにこの活動を通して参加メンバーとの交流も深まったため、非常に実りのある、忘れがたい時間となりました。



授業以外でのハワイでの過ごし方



杉本 栞奈

・所属ゼミ：菅原秀幸ゼミ
・出身高校：市立札幌旭丘
・入学年度：2024年度

ハワイで過ごした3週間はとてもあっという間でしたが、毎日が新鮮で楽しく、忘れられない思い出となりました。

みんなで花火を見たり、ビーチで遊んだり、サンセットを見に行ったりと、素敵な景色に囲まれた日々は、ハワイならではのかけがえない時間だったと感じています。

ホームステイ先では、他の大学の日本人学生や海外からの留学生と共に生活し、夕食後にみんなでおしゃべりをする時間が 毎日の楽しみでした。ホストファミリーも優しく面白い方々で、毎日美味しい食事を用意してくれました。

この3週間で多くの人や景色に出会い、様々な経験をしました。最初は慣れない地での生活に不安を感じることもありましたが、3週間が経つ頃には、帰りたくないと思うほど居心地の良い場所になっていました。また、英語や他文化を知ることへの意識がより高まりました。日本では経験できない多くの学びと楽しい思い出が詰まったこの3週間は、私にとって一生の宝物です。



ゼミなび

企業

組織

心理

経営

戦略

起業

英語

マーケティング

会計

情報

大学で開講されるゼミナール（演習）とは、
通常の講義の人数よりもはるかに少ない人数の学生が、
特定の教員の下で特定の分野を専門的により深く勉強していく科目です。

経営学部では、経営学のみならず、
会計学、心理学、情報、マーケティング、英語などの
様々な分野のゼミナールが開講されています。

1 部 ▶ 2年から4年まで、同一の演習で同一の分野を学習

2 年次

演習 I

3 年次

演習 II

4 年次

特別演習
卒業研究

2 部 ▶ 2年・3年・4年で、異なる演習を選択

演習 A

演習 B

演習 C

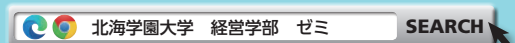
*各ゼミ学生によるゼミ紹介学生氏名と入学年を表記

Check it out!



▶ HPゼミ紹介ページ

<https://ba.hgu.jp/program/seminar/>



組織・マネジメント系

石嶋芳臣ゼミ



石嶋 芳臣 教授

■輪読とゼミ論研究

ゼミⅠは、輪読を中心とした学習をメインとしています。輪読は、対象のテキストを一冊、1年間かけてジックリ読み込んでいきます。輪読を通じて、経営学全般に対する洞察を深めるとともに、同じ箇所でも読み方の違いや理解に齟齬があり、それを討論によって共通理解とする科学的思考の訓練を積み重ねていきます。

続くゼミⅡは、各自のゼミ論研究となります。自分の研究テーマを自分で自由に研究するという経験を通じて、問題発見能力の育成と共に、問題意識を深め、理論的思考を獲得し、説得的プレゼン能力を養うことを目指します。あなた自身が設定した問題をみんなで解決する醍醐味を味わってほしいと思います。

石嶋先生のゼミの特徴は、のんびりゆっくり考えるゼミだということです。ゼミの流れは、発表者が準備し発表。そしてそれを聞いていたゼミ生が感想や質問を投げかけます。その中で鋭い質問をした時には、先生から褒められることもあります。最後には、先生から冷やっとするような質問が来ます。

ゼミの雰囲気は、講義は真面目、遊ぶときは遊ぶ。メリハリのあるゼミです。ゼミで仲良くなった人と授業を受けることも多くなったり、年2回行う懇親会では、たくさんのゼミ生が集まり、4次会まで行くこともあるかもしれません。たくさん学んでたくさん遊ぶのが石嶋先生のゼミです。



ある日のゼミ論報告での1コマ

■よく遊び、よく学べ

石嶋ゼミでは、ゼミコンパなど、すべてのゼミ活動を通じて、「よく遊び、よく遊べ! よく遊べる人こそ、よく学ぶ」をモットーとして、卒業後の将来、大学において何を得たのか、自信をもって答えられるよう、楽しみながら真面目に勉強しています。



藤田 蒼史
2023年入学

組織・マネジメント系

大石雅也ゼミ



大石 雅也 教授

■ゼミの目的

「人的資源管理論」に関する専門的な学修や研究もしっかりやってもらうのですが、それだけではなく、それも含めた「全人格的な成長」を実現してもらうことをゼミの目的としています。特に意識しているのは、将来、企業など何らかの組織に属するようになった時に困らない人間になってもらうことです。



ゼミでは、グループ研究や個人研究を通して人的資源管理論を学びながら、各種プレゼンテーションや企業とのコラボイベントなど多様な活動を並行して行います。そんな大石ゼミの良さを二つ紹介します。

①主体性が身につくこと：大石先生は、正解をあえて示さず、私たちの活動を見守ってくださるため、自分たちで答えを創る経験ができます。

②気の置けない仲間に出会えること：共に活動する中で信頼関係がどんどん深まっていき、困難も共有していくことで、気づけばゼミ生は“何でも話せる大切な存在”になりました。

これからも主体性を大切に、充実したゼミ活動が続けていきたいです。



2～4年まで、学年関係なく仲良しです！

■ゼミの活動

まずは、①ゼミ生同士仲良くなる ②自分の考えを持つ ③自分の考えを発信する ④一致団結して努力する、の4点に注力してもらいます。そのうえで、人的資源管理論を題材として組み立てられた様々なカリキュラムに取り組んでもらいます。ゼミ生みんなで頑張りたい、成長したいと思う人には合ったゼミだと思います。



河田 咲
2023年入学

組織・マネジメント系

春日賢ゼミ



春日 賢 教授

■ゼミの活動と方針

望ましい企業経営とは何か？を考えるゼミです。日経新聞、事例研究、グループワーク、プレゼン、レポート、4年生との就活懇談会の他、昨年は他ゼミと合同でソフトボールをしました。教員は活動の枠組み・方向性を示しますが、できるだけ主体性を重んじ、ゼミ生が自分で決めて自分で責任をもって動くよう心がけています。



プレゼン対抗戦の一コマ

■プレゼン対抗戦について

発表の機会が多いのが、本ゼミの特徴です。プレゼン対抗戦はチーム同士で、プレゼンとそれに対する互いの質疑応答で対戦します。プレゼンのネタはビジネス雑誌から探し、チーム内での検討を経てパワポを完成させます。対戦チーム以外のゼミ生が両者の対戦状況をみて、どちらか良いと思った方に投票することで勝敗が決します。



僕たちのゼミでは日経新聞やトヨタなどの車関係の記事を活用しながらパワーポイントを使って日々プレゼンテーションを行っています。

みんなの前で発表と聞くと身構えるかもしれませんが初めは5分程度の発表から始まり一人一人の発表に対して内容、喋り方などをみんなで意見を出し合うため回数を重ねる毎にプレゼンテーション力がついていきます。

意見と言っても叱責や嘲笑などは無く互いのいい所を交流し合う暖かみがあるため、人の前に出るのが苦手な人やコミュニケーションを取るのが苦手な人に向いているゼミとなっています。



竹谷 勇吹
2024年入学

組織・マネジメント系

近藤弘毅ゼミ



近藤 弘毅 教授

■ゼミの内容

本ゼミでは、2年次は主として経営史の教科書を輪読しながら、特に企業家個人に注目してグループワークを通して調査とプレゼン作成をしてもらいます。3年次には具体的な企業の事例を挙げながら成功したビジネスモデルについて学んでいきます。それに加えて、夏休みを利用して、道内各地の調査に出かけています。



グループワークで作成したプレゼン資料をみんなの前で発表して質問や意見を募ります

■ゼミのねらい

ゼミでは、単なる文献の輪読ではなく、グループで文献や資料の収集やディスカッションをしてもらうことで、知識や発見を持ち寄る楽しさを感じて欲しいと思っています。合宿でも、阿寒湖（前田正名について）、函館（高田屋嘉兵衛について）など北海道の発展に関係の深い事績を追って、北海道をもっと深く知って欲しいと思っています。

近藤ゼミでは、日本経営史やビジネスモデルを学びながらプレゼンやグループワークの仕方を学んでいきます。グループワークを通してゼミ生同士が仲良くなりコンパなどもたまにやるようになりました。

また3年次の夏休みには道内地域の歴史や地方創生について調査します。私たちは猿払村漁協を訪れ、ホタテ養殖の歴史と現在について調査を行いました。とても遠くてたどり着くのに大変でしたが、当事者の方々の話を聞くことで貴重な学びを得ることができました。



両角 良太
2023年入学

組織・マネジメント系

佐藤大輔ゼミ



佐藤 大輔 教授

■企業や地域との連携プロジェクト

佐藤大輔ゼミでは、北海道や東京の企業や、道内自治体などと連携して実施する課題解決型プロジェクトに数多く取り組んでいます。ただアイデアを構想するだけでなく、それを実際に実現することでリアルな成果を出していくという点がこのプロジェクトの特徴です。学術的な知見を社会実践で生かせる能力を身につけていくことを目指しています。



■クリエイティブなアイデアを生み出す

プロジェクトを中心に取り組みを進めていくゼミですので、結果を出すことにコミットしています。こうした中で、「思ってもみなかった」成果によって新しさを生み出すことにこだわります。私たちが目指しているのはクリエイティブで、イノベーションにつながるようなアイデアの具現化であり、そのために経験的に学ぶことを重視しています。

佐藤ゼミでは、リアルなビジネスを実践的に学ぶためのフィールドとして、地域企業との連携によるプロジェクトを多岐にわたって展開しています。ゼミ生は本ゼミとサブゼミと呼ばれる2つのプログラムに関わります。本ゼミは、自分のやりたいことをゼロから企画し、ビジネスやイベントなどとして具現化する取り組みを個人ベースで進めるプログラムです。

一方で、サブゼミはチームとして地域や企業などと連携しながら課題解決策を生み出し、実行していくプロジェクト型の取り組み（PBL といいます）です。これ以外にも臨時で取り組むプロジェクトなど、ゼミ生には多彩なチャンスが用意されています。



大橋 俊斗
2024年入学

組織・マネジメント系

菅原秀幸ゼミ



菅原 秀幸 教授

■世界に出て自分を鍛えるゼミ

◆特色

国際ビジネスを専門領域とし、「座学よりも行動」を合言葉に、キャンパスの外へ踏み出す実践的な学びを重視しています。

◆学びの方法

予期せぬ出会いや発見＝セレンディピティを生むフィールドワークを通じて、視野を広げ（Expand your horizon）、自分だけの価値を創り（Make a difference）、世界へ挑む力（Go global）を育みます。
人は「教えられたことは忘れ、みずから気づいたことは覚える」という原則に則って、ティーチングではな



いつもキラキラ輝く！

くコーチングを軸に活動をしています。

◆学生の姿勢

学生一人ひとりが自ら問いを立て、主体的に行動し、その経験から学びを深めていきます。国内での外国人との交流や、外国を旅することを通して、異質性や多様性に触れることを大切にしています。



私たちのゼミは、どこよりもキラキラ輝くナンバーワンを目指して活動しています。教室を飛び出して、大学外での活動に積極的に取り組んでいます。

4 ブラでの公開ゼミ、社長との実践型ワークショップ、社長インタビュー、留学生との交流、児童養護施設でのボランティア活動、海外研修などを実施し、社会や世界と本気で向き合います。

菅原秀幸教授から学んだコーチングと AI を活かし、正解のない問いに挑み、行動の中で自分を磨き続ける。そんな挑戦者が集うゼミです。私たちのゼミでしか体験できないことを追求し続けます。



吉原 成海
2023年入学

組織・マネジメント系

菅原浩信ゼミ



菅原 浩信 教授

■地域のゼミ・NPO のゼミ

このゼミでは、ボランティア組織や NPO 法人に代表される非営利組織（NPO）を取り上げます。住んでいる地域にはおそらく町内会があるはずですが、将来、子どもが小学校に入学すれば PTA で活動するかもしれません。町内会も PTA も、実は非営利組織です。なので、みなさんは何らかの形で非営利組織と今後関わる（あるいは、すでに関わっている）はずですが、ということで、

非営利組織のことを知っていて損はないと思います（他のゼミでは学べません）。

また、このゼミでは、地域の様々な組織に協力していただき、その地域の課題を発見し、その解決策を考える（そして、実行することもある）というプロジェクトを展開しています。地域の活性化に関心を持っている人にはおすすめです。



プロジェクトの中間報告です。

菅原先生のゼミでは、企業をグループごとに分析し、プレゼンするため、社会人に必要なプレゼン能力や、企業の分析から企業の構造についてなど、学ぶことができます。

また、グループやペアで話し合うことが多いため、ゼミメンバーはみんな仲が良く、また気軽に先生に質問できる環境のため、楽しみながら学んでいます。

そして、今回希望者は合宿を通じて木古内町の有償ボランティアについても学び、現状を見てから分析という流れで学べるため、考える力や伝える力を高めることのできるゼミです！

講義をしっかりと聞いて課題に取り組むことで、日常生活や社会でも幅広く対応できる必要な能力が身につきます！



佐藤 桃葉
2024年入学

組織・マネジメント系

中村 暁子ゼミ



中村 暁子 准教授

■研究集団としてのゼミ活動

リサーチ・コースでは、卒業論文の執筆を目指し、研究活動に取り組みます。普段のゼミでは、それぞれが自分の興味・関心に基づいて論文を探し、内容を読み込んだうえで要点を整理し、発表を行います。さらに、その内容についてゼミ内で議論を重ねることで、学術的な知見を深め、自身の研究テーマへとつなげていきます。



1部・2部のゼミ生でハスカップの収穫へ！

■実践重視のゼミ活動

マネジメント・コースでは、フィールドワークを通じた実践的な学びを重視しています。経営学の視点を土台として、実際のフィールドに足を運び、そこで見たり聞いたこと、感じたことを分析します。そのうえで、自分たちでフィールドの特性に即した施策や戦略を検討・立案し、実践的な活動へと展開していきます。



本ゼミにはリサーチ・コースとマネジメント・コースがあります。

リサーチ・コースでは学術研究を行います。研究で必要となる知識を学び、卒業論文を執筆します。

マネジメントコースでは2つのフィールドがあり、①仁木町の地域振興を目的とした活動や、②平岸マルシェでイベント企画・運営を行う活動があります。①では実際に仁木町へ足を運び、フィールドワークや合宿を通して自分たちで戦略を練り、実行します。②では平岸マルシェに出店することで「経営すること」を経験します。ゼミ生同士で知識や情報を共有し合うので、ともに高め合う魅力的なゼミです！



古内 菜々香
2024年入学

戦略・マーケティング系

伊藤 友章ゼミ



伊藤 友章 教授

■学習プログラムの特徴

教室での勉強でマーケティングの基本知識や社会人スキルをコツコツと蓄積したら、それを生かす場としてリアルな課題解決に取り組むプロジェクト型授業やビジネスゲームなどの実践的学習を経験、終了時に振り返りをして自分の課題を見つけ、問題意識をもって再び教室での勉強に取り組む。こんな理論と実践のサイクルを3年間で3周半していきます。



奥芝商店とのスープカレープロジェクトの最終報告

■到達目標

社会に出てから、まずは目の前の相手（主に顧客）にとって本当に役に立ち、満足してくれるようないい仕事を積み重ねていき、自分のやりたかった仕事に辿り着けることを理想のキャリアパスの一つとして具体的な学習プログラムを考えています。マーケティングの仕事？過去のゼミ卒業生を見ても決して届かない夢ではないと思います。

マーケティングについて、ケース分析や、飲食店や企業と連携した活動を通して、多方面から理解を深められるゼミです。座学だけでなく、長期的なチーム活動に主体的に取り組みながら学びたい学生におすすめです。

実際に私はプロジェクトの一つとして、約1年3ヶ月にわたり、カフェの新商品開発から販売、SNS運用を活用した広告施策、他団体とのコラボカフェ開催などを行いました。

ゼミ活動を通して、計画性、共同力、メンバーに対するマネジメント力など、多くの力を身につけることができた実感しています。外部との関わりも多く、同じ志を持つ仲間とともに、大学生活をより充実させることができたと感じます。



筒井 里音
2023年入学

戦略・マーケティング系

金 倫廷ゼミ



金 倫廷 准教授

■【理論の本質を突き詰め、思考の「型」を築く】

金ゼミは、組織論・戦略論を軸に経営学を基礎から徹底的に学ぶゼミです。テキストの輪読で土台を固めた上で、関心が深まったテーマは最新の理論や研究論文にも触れます。流行語や結論だけで分かったつもりにならず、経営学の概念や理論などを正確に理解し、現実の企業や社会の課題を読み解き、考え、形にしていきます。



■【問い続け、まず挑む】

モットーは“The important thing is not to stop questioning.”。問いを立て、根拠を確かめ、反論も踏まえて考えを整える——この反復を通じて、論理的思考と批判的思考を鍛え、提案や行動につなげる力を育てます。完璧な正解よりも、納得感のある問いを大切にしながら、共に試行錯誤を楽しんでいます。



思考を止めず、問いを楽しむ金ゼミ。

金ゼミでは、理論をベースに経営学を体系的に学んでいきます。

授業では、担当者が内容をまとめてプレゼンテーションを行い、その後、ゼミ生同士で疑問点や理解が難しい部分を積極的に質問し合うことで、理解を深めていきます。2コマ連続で行われる点が特徴で、一見長く感じられますが、実際に参加すると議論に集中でき、時間はあっという間に過ぎます。

また、2・3・4年生が合同で活動するため、学年を超えた意見交換ができる点も魅力です。決して楽なゼミではありませんが、確実に自分の力になっていると実感できるゼミです。



中川 結翔
2024年入学

戦略・マーケティング系

今野喜文ゼミ



今野 喜文 教授

■失敗を恐れずに何事にも挑戦するゼミでありたい

今野ゼミは、経営戦略を中心テーマとして、企業が直面するさまざまな課題を理論的かつ実践的に分析・解決していくゼミです。経営戦略に関する理論やフレームワークを学ぶだけでなく、それらを実際の企業や地域の課題に応用することを重視しています。課題発見から解決策の提案に至る過程では、戦略分析に加え、マーケティング分析や財務分析といった基礎的なビジネススキルも活用します。また、失敗を恐れない姿勢を大切にし、ゼミを「社会に出るまでに唯一与えられた失敗の場」と位置づけています。こうした学びを通じて、論理的思考力と実践力を養います。

卒業生の進路は、金融機関、広告代理店、公務員、大手メーカーなど多岐にわたっています。



これが今野ゼミだ!!

今野ゼミでは、経営戦略の理論を学ぶだけでなく、自分たちが興味のある業界を選び、実際の企業が抱える課題を題材に、具体的な解決策を考える活動を行っています。

ゼミの活動を通じて、「なぜこの戦略が有効なのか」を理論に基づいて考える力が身につきました。また、マーケティングや財務の分析にも取り組むことで、企業活動を多面的に捉える視点が養われます。ゼミではプレゼンに対する質疑応答も活発で、自分とは異なる考え方に触れられる点も大きな魅力です。

このゼミでの学びは、就職活動はもちろん、社会に出てからも必ず役立つと感じています。



三浦 詩月
2023年入学

戦略・マーケティング系

下村直樹ゼミ



下村 直樹 教授

■サイエンスからの広告学習

2・3年生のゼミは広告や消費者行動を教科書から学びます。3年生前半まではこれらの分野の専門的な論文を読み、広告効果の分析に必要なデータ分析も学びます。3年生後半ではこれまで学んだ知識を元にグループ研究に取り組みます。履修生が少ない年度は、年数回2～4年生の3学年合同ゼミを行うこともあります。



4年生ゼミでのディスカッション

★アートからの広告学習

4年生のゼミは卒業研究と特別演習の2科目を同時履修します。最終目的は卒業研究で提出する広告物の制作です。1つの製品・サービスを取り上げ、そのテレビCM・YouTube動画広告といった映像、ポスター画像、ウェブ広告を制作します。広告物は3年生で学んだ広告戦略のフレームワークに基づいてつくります。

他のゼミと比べると、おそらく課題は多いと思います。正直、課題が大変だとも思いましたが、大変だった分"確実に"自分の身になったと実感しています。

このゼミは、「真面目に取り組むときは真面目に、楽しむときは全力で楽しむ」という、オンとオフの切り替えができる人ばかりです。

合宿などのイベントを通じて、さらに仲間の絆が深まり、先生のユニークな人柄や、何でも言い合える仲間のおかげで、楽しみながら走り抜けることができました。

密度の濃い大学生活を送る上で、このゼミを選んで正解だったと誇りを持って言えます。



敷浪 優多恵
2022年入学

会計・ファイナンス系

赤石篤紀ゼミ



赤石 篤紀 教授

■ゼミの内容

勉強面では、経営学の考え方、ビジネスに関する問題についてのグループワークやプレゼンテーション、個別の関心に基づいた研究などを行います。経済動向や企業経営に対する洞察力を磨くために、株式投資も行っています。

また、勉強だけでは、チームとしての一体感がなかなか出てきませんので、レクリエーションの機会も設けるようにしています。

これら一連の活動を通じて、社会で働くため、生き抜いていくための力が少しでも養えられればと考えています。



グループディスカッションを中心としたゼミです

■ゼミのねらい

ゼミの目標は、①コミュニケーション力、②洞察力、③ビジネスやマネジメントに関する基本的な理解力の3つを鍛えること。

これらの力の向上を主眼に、ゼミの活動を行っています。



このゼミは、無理のない適度な課題量で学びを進められるのが特徴です。会計が苦手でも、基礎的なテキストを使って考え方を1から丁寧に学べますし、グループワーク中心なため、発言力や思考力を鍛えることができます。プレゼン回数は多めですが、1対3人程の少人数で行うためハードルが低く、無理せず力をつけることができます。

また、先生がゼミコンパやレクリエーションを主催してくれるため、ゼミ生同士で仲を深めやすい環境が整っています。入って後悔しないゼミだと思うので、是非検討してみてください！



前田 桃香
2024年入学

会計・ファイナンス系

今村聡ゼミ



今村 聡 教授

■簿記から会計へ

2年次の演習Ⅰでは、1年次の簿記Ⅰ・Ⅱで学習した内容を復習した後、少し高度な複式簿記と、簡単な株式会社会計の知識を得ることを目標とします（もちろん、教員の担当科目である工業簿記・原価計算の講義も履修してもらいます）。3年次の演習Ⅱでは、演習Ⅰで得た知識を前提に、より高度な財務会計について研



会計のプロフェッショナルへの第一歩

究するか、または工業簿記・原価計算の範囲を研究対象とするかを、履修者諸君と相談の上で決定します。



● 当ゼミでは会計学や簿記について深く研究していきます。1年次にアカウンティングや簿記を学び興味を持った方は最適です（大山怜桜）● 自ら教科書の内容をまとめ、パワーポイントを作成し、理解を深めることが出来るので、経営学部でも、将来でも、役に立つようなことが学べるゼミだと思います（山本晃）● 「どうしてその仕事になるのか」、「会社法などによれば、企業はどのように運営されるのか」など普段の講義では扱わないような深い知識を学ぶことができます（市村壮）● 少人数の落ち着いた規模の中で、じっくり着実に学習に取り組めるところが、このゼミの魅力だと感じています（本田淳喜）● 今村先生は教科書に載っていないことや、実践的な知識をお話して下さるので、より深く学ぶ事ができます（大浦千夏）

《一番上の上写真》

前列右より：本田 淳喜、大山 怜桜
後列右より：大浦 千夏、山本 晃、市村 壮
全員 2024年入学

会計・ファイナンス系

川津大樹ゼミ



川津 大樹 講師

■情報利用者の視点から企業分析

2年次のゼミでは、文献の輪読を通じた会計学の知識・理論の習得のほかに、グループワークとして企業分析にも取り組んでいます。情報利用者（投資家等）の視点から上場企業が実際に公表している報告書（有価証券報告書・統合報告書）を読み解き、その成長性・将来性を予想して、「伸びる企業」を探していきます。



会計の側面から企業経営を学ぶ

■懸賞論文への挑戦

3年次のゼミでは、グループワークの一環として、学外の機関が主催している懸賞論文（経営学分野）への投稿に挑戦します。論文作成を通じて企業経営の理論と実務を学ぶだけでなく、明らかになった結果とその原因を考察していくことで、学生が「考える力」を身に着けることも目指します。



私たちのゼミでは、企業分析に関する取り組みを中心的なテーマとしており、それに関する課題について役割分担をしながら調べ、その内容を報告し合うグループワークを行っています。今年は、ゼミ内で上場企業2社を調査し、過去の業績と現在の事業内容から、その企業の業績が伸びるか予想しました。その予想が当たるかどうか楽しみです。

また、今後は、中小企業経営をテーマとした懸賞論文にもチャレンジする予定です。論文を書くことは初めてのことでありますが、ゼミ生のみんなと一緒に頑張って取り組みたいと思います。



清田 雅麒
2024年入学

● 会計・ファイナンス系

庄司 樹古ゼミ



庄司 樹古教授

■思考力と実践力

アカウンティングに関する専門知識の修得のみでなく、ゼミ活動を通じて、「自ら考え、行動し、体験する」ことで、「自立と自律」を兼ね備えた人物になることを目指します。

「思考力」を鍛え、アクティブラーニングやインターンシップを通じて、日頃の学修を前提とした実践に取り組んでもらうことが、ゼミの基本的なスタンスです。



庄司ゼミでは、ビジネスやアカウンティングの学びを深め、分析やアウトプットに取り組めます。このゼミでは、考える力を養うところから始めます。思考力を鍛えるために、ボードゲームなども使いながら、自分で考えて決める体験を重ねていきます。その後は、財務諸表を用いた企業分析に取り組んでいます。

これまでのゼミ活動や日頃の学修の積み重ねを活かしながら、対話や議論といったコミュニケーションを沢山とり、学生各々のキャリア形成も考えながら進めていきます。ゼミでの主役は学生である、と考えてくださる先生です。少人数ながら活気がある、庄司ゼミはこんなゼミです。



少人数ですが、毎週、楽しくゼミを実施しています

■ゼミポリシー

本ゼミは、経営学部における日頃の学修を一つにまとめるためにあると考えています。

したがって、会計やファイナンス系の科目のみでなくマネジメントやマーケティングに関する知識も各講義を通じてしっかりと学修して、ゼミにおいてそれらの知識を活用して、各自のテーマについて取り組んで行くことが必要となります。



鷹嘴 茉菜
2023年入学

● 情報系

天笠 道裕ゼミ



天笠 道裕 教授

■コンピュータと情報ネットワークによる情報活用

DX 時代における「インターネットの戦略的活用」・「経営情報システムの戦略的活用」に関して学習します。さらに、「プログラミング言語」を学習し、実際にシステム構築を図ります。



ゼミのテーマ毎にプレゼン大会を開催します

■経営問題に対する問題解決へのアプローチ

経営事象、経営問題をシステムとして捉え、客観的な問題認識を図るアプローチ方法：システムズ・アプローチを学習し、これら方法論を用いた問題分析を行い、問題解決方を提案します。また、様々な経営事象に関する未来予測を行うための方法論を学習し、実際に予測を行います。最終的に予測結果に基づいた問題解決方策の提案を図ります。なお、これらはグループワークを通して行われ、集大成である報告書の作成やプレゼンテーションまでを協働で取り組みます。

天笠ゼミでは、DX 時代の経営情報関連分野について学習しています。例えば、プログラミング、経営における各種予測を行うための予測方法論、経営問題をシステムとして捉えるシステムズアプローチ（以下、SA）といった問題解決方法論を学習し、実践しています。

私のグループは SA では、「デジタルデバイスの普及における諸問題」をテーマとし、具体的な問題解決方策を考案しました。これらに関しては、最終的にプレゼン大会で発表を行い、各グループの成果を共有しています。このように、本ゼミでは活発なグループワークが展開されています。



土田 光輝
2023年入学

情報系

上田雅幸 ゼミ



上田 雅幸 教授

■ゼミのねらい

私のゼミの目標は、“これから直面するであろう意思決定において、コンピュータを活用できそうだと感知する能力を高めること”です。私のゼミでは、Excel 関数による作業の効率化を含めて、「身近な存在になったコンピュータを大いに活用することで、意思決定における“答え”を科学的に求められるようになること」を目指しています。



■ゼミの内容

ダイエットを成功させるには？”といった日常生活における意思決定から“生産・輸送・販売”といった経営上の意思決定まで、私たちは多くの場面で意思決定を行う必要があります。私のゼミでは、こうした意思決定を経験や勘ではなく、科学的に行う方法について学習しています。



演習は、“PCを使用した実習”がメインです

上田ゼミでは、様々な問題に取り組む機会があります。演習Ⅰでは、アンケート結果から改善点を探るために「データ分析」を行ったり、直観に反する問題として有名なモンティホール問題を「シミュレーション」で解いたりすることにチャレンジしました。演習のなかで扱う「関数」をはじめ、Excel の基礎的な使い方・考え方も色々学びました。

演習Ⅱからは、「Excel ソルバー」による生産計画・輸送計画・人員配置などを学習していく予定です。演習を通じて、社会に出てから役立てられるような技能・思考を確実に身につけていきたいと思います。



影山 公亮
2024年入学

情報系

関哲人ゼミ



関 哲人 教授

■興味のある内容を解き明かす

統計理論そのものを追究するのではなく、グループで興味がある内容について、ゼミ生自身で集めたデータを使って実証していくことが目的で、実態調査を主体にしたものになっています。

過去のテーマ：音楽離れ、実写化映画、札幌ドームの移転、旅行、推しグッズ、お菓子・書籍の付録、など。



■ゼミ生が選んだテーマについて CASE：2024-2025

大学生にとって YouTube ショート動画とはどのようなメディアなのかを解明すべく、アンケート調査に取り組んできました。

本テーマは HBC (北海道放送株式会社) と共同で開催している HBC メディア講座 (経営統計学概論Ⅰ、Ⅱで行っている講演会) にかかわる内容でもあるため、本内容は HBC スタッフと連携する形で実施しました。



HBC 本社でのミーティング

関ゼミでは、統計学（今年度はスプレッドシートの利用、分析手法はクロス集計・回帰分析がメイン）を活用してゼミ生全員で課題研究に取り組んでいます。

地方テレビ局の社員様と意見交換や研究のプレゼンテーションを実施する機会もあるなど、フィールドワークも経験可能です。

そして、本ゼミは 1 部・2 部、学年の垣根を越えて協働して研究活動に取り組めます！さらに研究活動に一定の成果が出た際には、打ち上げを実施するようにしています。もしこの文章を読んで興味を持った学生は、ぜひ 1 度ゼミ見学に来てみてください！



左から、沢口 柊太、堀川 琴里、井上 美咲
2023年入学

※写真：演習Ⅱ・演習 B 生 3 名
(HBC 本社にて)

情報系

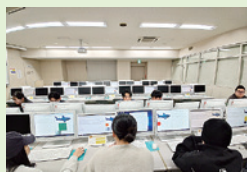
福永厚ゼミ



福永 厚 教授

■ゼミ紹介

本演習では、「Web ページ作成の基本と ICT 関連知識の習得」をテーマにしています。Web ページの作成では、HTML(HyperText Markup Language) のタグの使い方や、CSS(Cascading Style Sheets) を使った見栄えの良いページへの仕上げを学びます。また、プログラミング言語 PHP によって CGI プログラムを作成し、Web アンケートの作成・実施・集計・発表も行います。



コンピュータ実習室で行われているゼミの風景

ICT に関連する用語や e ビジネスについての輪読、業界研究について発表を行うことで、プレゼンテーション能力を高めます。技術と知識の両面から学んでいくことが本演習の特徴です。



福永ゼミでは、Web サイト制作の基本となる HTML や CSS などの知識と基礎技術を実践的に学び、ゼミ生はそれらを活かして、自身のオリジナルホームページを作成します。

また、情報技術に関する学習では、各自がテーマに沿って、調査・発表する機会があり、発表者だけでなく質問者も担当することで、テーマへの相互理解を深められます。

課題は、周りと同じペースで無理なく取り組めるよう配慮されているため、技術的な不安を感じる必要はありません。さらに、業界研究も行い、将来の就職活動に役立つ知識と視野を養うことができます。



墨 智也
2023年入学

心理系

進藤将敏ゼミ



進藤 将敏 准教授

■心理学の実験研究

認知心理学の実験を行っています。3～4名でグループを組み、特定のテーマについて実験計画の立案、データ収集、結果発表まで行います。最近では、「変化盲（目の前の変化に気がつかない現象）」の検証や「偽りの記憶」が生じる条件を明らかにする実験などを行い、楽しみながら科学的な思考力を磨いています。



ゼミ学生による実験結果のプレゼン

★課外活動

最近では道北地域に赴き、課外活動を実施しています（年1回）。特に人口減少が著しい地域における子どもたちや事業主との交流を積極的に行っています。地域づくりにおける教育の重要性や事業運営の実際について学ぶ良い機会となっています。



私たちのゼミでは、認知心理学をテーマとした実験に取り組んでいます。仲間と実験計画を立て、結果を予測し、実験データの分析やプレゼンテーションなどを行っています。

今年の夏には道北地域で課外活動を行い、地域の小学校の子どもたちに心理学の授業をしたり、牧場見学などを行いました。特に小学校での授業では、事前に多くの時間を使って子どもたちが理解しやすい資料や授業方法を考えて準備しました。わかりやすく伝えるための難しさや実施の楽しさを感じることができ、貴重な経験となりました。



富田 祐真
2024年入学

心理系

中川裕美ゼミ



中川 裕美 准教授

■社会集団の協力行動やスポーツファンについて研究します！

本ゼミでは、集団関係を主なテーマとして質問紙調査や行動実験を行ってもらいます。もちろんそれ以外にも検討したいテーマがあれば、一緒に研究を進めていきたいと考えています。ゼミの時間を通して調査や実験の手続きを丁寧に説明しますので、コツコツと頑張っていきましょう。社会心理学のみならず、スポーツ心理学に興味がある人も大歓迎です。また、各心理学会が主催する学部生向けの企画も随時紹介していきますので、積極的に参加してみてください。



「社会を見る目」を養う心理学ゼミです



中川ゼミでは、社会心理学の観点から「スポーツファンの協力行動」について研究を行っています。スポーツを実際に行う選手や指導者だけでなく、観戦を通してスポーツを楽しむファンの心理にも焦点を当て、スポーツが社会に与える影響を経営学的に考察します。

また、就職活動を見据えた活動にも力を入れており、地域課題の解決を目的とした新規事業立案など、実践的なグループワークにも取り組んでいます。学びを通して社会と人のつながりを深く理解できるゼミであり、仲間と協力しながら主体的に学びを深められる環境です。



畑 真那杜
2023年入学

心理系

増地あゆみゼミ



増地 あゆみ 教授

■集団の「強み」・個人の「強み」

－心理学を通じて「強み」を理解し、実践に活かす－

この演習では、集団において個人の「強み」が発揮されるためにはどのような条件が必要か、集団活動を支える個人の「強み」とはどのようなものかについて、前期には体験ゲーム、後期にはPBL（Problem-Based Learning）を通じて考えていきます。ゼミでの活動は3名のチームを基本単位として進めます。



■ゼミで重視していること

体験ゲームやPBLを活用したゼミ活動で重視しているのは、①実体験をベースにして心理学的現象を実感しながら理解する、②具体的な経験を抽象的な心理学の知見に一般化して理解する、③理解したことをチームで深め、協働して効果的に伝えられるようなスキルを習得する、ということです。課外活動も協力して楽しみます。

ゼミではテーマごとに異なるチームで課題に取り組みます

前期の活動では、体験ゲームを中心としたグループワークを主に行っていました。体験ゲーム、振り返り、発表の3つを3週間で1回のサイクルとして活動していました。ゲームごとにグループメンバーが変わるので、ゼミ生同士の関係が深まっています。

夏休みにはゼミ合宿を行い、ルスツに1泊2日でログハウスを借りて宿泊しました。今年度はゼミコンを2年生だけで1回、2、3年生合同で1回行い、とても楽しい時間でした。

後期には研究テーマごとにグループに分かれ、集団・個人のどちらかについての心理学の研究を共通のテーマを持ったメンバーで集まりアンケート集計などの研究を行い、最終授業で発表予定です。



五十嵐 大雅
2024年入学

心理系

花塚優貴ゼミ



花塚 優貴 講師

■「おもしろい」を実験心理学的に分析

みなさんはYoutubeやTiktokなどのショート動画をご覧になったことはあるでしょうか。花塚ゼミではそれらの動画の「おもしろさ」を分析し、仮説（予想外のオチがあるとおもしろい？）を立てます。そしてそのおもしろさの要因を含むシナリオと動画を作成し、心理学実験を行い、「おもしろさ」を再現できるか検証します。



アイデアを共有し、仮説を立てていく様子

■「なぜ？」をアンケート調査で検証

日常的にふと思う疑問（札幌市民はなぜヤンキースのキャップを身に着けるのか？等）に対し、仮説（札幌市民は流行に敏感だから？）を立てます。既存の尺度と自分たちで考えた質問項目を組み合わせ、仮説検証を行います。仮説通りの結果が得られないときこそ新しい発見があり、ゼミの醍醐味を肌で体験できます。



花塚ゼミは心理学を通じて成長できる場です。活動内容はグループワークが多く、困ったときはゼミの仲間が必ず手を差し伸べてくれる温かい雰囲気があります。PowerPointを使った発表機会が豊富にあり、社会に出てからも役立つプレゼンテーション力やコミュニケーション能力が自然と身につきます。また先生との距離も近く、気軽に相談できる環境が整っています。心理学に関する論文を読む機会も多く、毎回新しい発見や学びがあります。

真剣に活動しながらもゼミメンバー同士の仲が良く、互いに支え合いながら成長していける、そんなゼミです。



西尾 悠吾
2024年入学

英語系

浦野研ゼミ



浦野 研 教授

■英語で社会とつながるゼミ

英語演習（浦野ゼミ）は、英語力の向上を目指すとともに、英語を卒業後の人生やキャリアとどのように結びつけるかを考えるゼミです。自律性を重視し、活動内容はゼミ生自身が話し合い、企画から運営まで主体的に担います。札幌市内のゲストハウスや日本語学校と連携し、外国人との異文化交流イベントを企画・



ゲストハウスにて異文化交流イベントを開催

実施し、準備・広報・当日の進行・振り返りまで一貫して取り組みます。また、SNSを活用して日英両言語で情報発信を行い、地域の魅力を発信する活動にも挑戦しています。教室内でのディスカッションや勉強会、長期休業中の海外研修なども通して、英語を「学ぶ」だけでなく「社会の中で使う」経験を重ねています。



本ゼミは英語を専門とするゼミで、ゼミ長を置かず、全員が主体となって授業やプロジェクトを進めています。授業外での活動も学生主導で行われており、自ら考え行動する姿勢や責任感が自然と身についていきます。英語が好きな学生が集まっているため、授業外でもTOEICの学習などを通して互いに刺激を受けながら力を高めています。

また、前期・後期に一度ずつ行われる先生との個別面談では、将来についての相談や具体的なアドバイスを受けることができ、先生との良好なコミュニケーションが築かれている点も魅力です。



門田 美優
2024年入学



教員の研究紹介【科研費助成を受けている研究】

科研費 KAKENHI

大学教員は、講義だけでなく、自身の研究を行っています。こうした研究活動によって、新しい理論・知見が発見され、これらの理論・知見を踏まえた講義が展開されることになります。

科研費とは

科研費（科学研究費）は、人文・社会科学から自然科学までの全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、専門分野の近い複数の研究者による審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

科研費の採択率

申請をした研究テーマが、全て採択されるわけではありません。毎年多くの研究者が科研費助成の申請を行いますが、その採択率は平均27.1%（2016～2025年度の）となっています。

基盤研究 (A・B・C)	一人又は複数の研究者が共同して行う独創的・先駆的な研究 (期間3～5年間、応募総額によりA・B・Cに区分) (A)2,000万円以上5,000万円以下 (B)500万円以上2,000万円以下 (C)500万円以下
挑戦的研究 (開拓・萌芽)	一人又は複数の研究者で組織する研究計画であって、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを志向し、飛躍的に発展する潜在性を有する研究 (開拓)3～6年間 500万円以上 2,000万円以下 (萌芽)2～3年間 500万円以下
若手研究	博士の学位取得後8年未満の研究者（注1）が一人で行う研究 2～5年間 500万円以下

経営学部教員の科研費採択一覧

科研費の助成を受けた経営学部教員の研究課題は下記となります。それぞれの詳細は、科学研究費助成事業データベース（<https://kaken.nii.ac.jp/>）で検索することができます。



代表者となっている研究課題（2017年度以降）

採択年度	氏名	研究課題等	課題番号	研究種別
2026年度	田中 勝則	大規模言語モデルへの心理的依存測定法の開発および依存促進要因の検討	26K06600	基盤研究(C)
	中川 裕美	内集団の成功予期に基づく見返りを期待しない協力	26K16859	若手研究
2025年度	進藤 将敏	幼児における「人物画の身体動作表現の発達」と「自己の発達」との関連	25K06030	基盤研究(C)
	中村 暁子	女性のワーク・キャリア形成における社会的アイデンティティの貢献	25K16737	若手研究
2023年度	内藤 永*	日本人が苦手とする即時応答力を磨く「9マス英会話」の有効性を巡る実証的研究	23K00700	基盤研究(C)
	村上 始*	消費者の購買意思決定過程における視線パターンに基づく心理状態の推定に関する研究	23K12562	若手研究
2022年度	近藤 弘毅	地場産地における産地内競争と産地の長期動態との関連性に関する定量分析	22K01598	基盤研究(C)
	関谷 浩行*	相対的業績評価を中軸とした地方公営企業の情報開示と情報利用に関する研究	22K01812	基盤研究(C)
	菅原 浩信	ふれあいサロンの継続的な運営に求められる参加者の満足度の向上	22K02011	基盤研究(C)
	田中 勝則	青年期のゲーム障害予防に向けた標準データ収集および教育プログラム開発と効果検証	22K03174	基盤研究(C)
	花塚 優貴	こころの理論に焦点をあてた認知症の障害解明と早期検出の試み	22K13879	若手研究
2021年度	金 倫廷	ミクロ的基礎付けによる制度維持の新しい理論枠組みの探究	21K01680	基盤研究(C)
2020年度	中村 暁子	自社外の人的ネットワークが女性従業員の垂直的キャリア形成意欲にもたらす影響	20K13591	若手研究
	進藤 将敏	幼児期の非標準型描画活動が実行機能の発達に及ぼす影響—保育現場への支援に向けて—	20K13933	若手研究
	中川 裕美	外集団脅威とコストに応じて切り替わる内集団ひいきの心理メカニズム	20K14146	若手研究
2019年度	古谷 嘉一郎*	乳幼児養育者の疲弊を緩和するWebツールについての基礎・応用的研究とその社会実装	19H01656	基盤研究(B)
	関谷 浩行*	過疎地域の地方公営企業における組織間連携に関する研究	19K13857	若手研究
2018年度	吉川 大介*	景気に左右されない頑強な資産運用手法の構築	18K01694	基盤研究(C)
	田中 勝則	コミュニティベースにおける神経発達症スクリーニングツールのweb化と妥当性の検証	18K03106	基盤研究(C)
2017年度	金 倫廷	組織コントロールの影響過程におけるアイデンティティ志向の媒介効果	17K13795	若手研究(B)

※敬称略。在籍時に採択された研究課題を記載。*印は2026年3月現在で退職あるいは転出している教員。 ※前任校在籍での採択課題を本大学に赴任後も継続している場合、これも記載。

※各年度の掲載順は課題番号順

教 員 研 究 業 績 一 覧

[2025年度] *教員からの報告に基づく
*50音順での掲載

J-STAGE

J-STAGE SEARCH

著 書

- 佐藤 大輔 ・人を動かす経営学／ナツメ社
- 進藤 将敏 ・エピソードでわかる子ども・子育て支援—子どもの育ちを支える—（共著）／北樹出版
田中 勝則
- 中川 裕美 ・公認心理師ベーシック講座 社会・集団・家族心理学（共著）／講談社サイエンティフィク
- 花塚 優貴 ・多変量解析のためのSPSS操作マニュアル： 解析手順から結果・解釈の書き方まで（共著）／ナカニシヤ出版

国際・国内学術誌論文

- 中村 暁子 ・Strategizing as the Process Constructing Regional Institutions : A Case Study of a New Boutique Winery in Japan（共著）／ The Conference Proceedings of the 38th ANZAM (Australian and New Zealand Academy of Management), pp.550-562
- 花塚 優貴 ・The precuneus and posterior cingulate gyrus support temporal orientation in Alzheimer's disease.（共著）／ Brain Communications fcab424

専門誌・商業誌掲載論文（国内外）

- 川津 大樹 ・サステナビリティ開示に関する基準開発の相違点—ISSBとSSBJにおける質的特性の比較検討—／ 産業経理, 第85巻第4号

学内論集《経営論集》

- 伊熊 克己 第23巻第4号 ・学生の情報機器使用状況と健康に関する調査研究
- 上田 雅幸 第23巻第1号 ・ソルバー機能とデータテーブル機能を活用した問題解決教育—販売員配置計画問題を例に—
- 春日 賢 第23巻第1号 ・『新しい社会』（1962年版,1993年版）について—「序文」「エピローグ」「イントロダクション」の検討—
第23巻第2号 ・『生態学のビジョン』について—文筆家ドラッカーの終活—
第23巻第3号 ・『アメリカのこれからの20年』について—ドラッカーにおけるその意義—
第23巻第4号 ・ドラッカーの利潤論について
- 川津 大樹 第23巻第3号 ・IFRS サステナビリティ開示基準における質的特性の分析
- 菅原 秀幸 第23巻第2号 ・地方自治体コーチング研修の実証的検証—存在承認と傾聴が職員の「あり方」を変容させる—
第23巻第3号 ・心理的安全性とコーチング文化の醸成過程—混合研究方法による探索的研究—
第23巻第4号 ・国際経営教育におけるコーチング型授業が学習に及ぼす影響—学習者の認知・体験・関与に着目した実証分析—
- 菅原 浩信 第23巻第4号 ・ふれあいサロン間の連携の促進に向けた取り組みの現状と課題
- 中村 暁子 第23巻第4号 ・ワーク・キャリア形成とアイデンティティの変容—概念的枠組みの再考と今後の展望—

学内論集《学園論集》

- 近藤 弘毅 第199号 ・組織生態学的手法を用いた木工業産地の比較研究 —北海道旭川および福岡県大川の木製家具産地の1967–2015年の職業別電話帳データを用いた分析—
- 進藤 将敏 第199号 ・子どもの描画と自己の発達：人物画における身体動作表現と時間的拡張自己およびナラティブ・セルフ
- 菅原 秀幸 第198号 ・リーダーシップの起点は承認から —コーチング型リーダーシップ研修の実証的効果分析—

学内論集《開発論集》

- 近藤 弘毅 第117号 ・APC 分析による産地企業比較の試み —旭川・大川両木工業産地の構造変化の解釈—
- 進藤 将敏 第117号 ・〈報告〉大学生による心理学体験授業を通じた地域児童・生徒との教育的交流 —豊富町における地域連携の実践報告—
- 菅原 秀幸 第116号 ・老舗百貨店の経営陣を対象としたコーチング研修の実証分析 —個人の変容と組織文化への波及効果—
- 中村 暁子 第116号 ・仁木町における新規ワイナリー設立に向けた資源獲得と経営に関する現状整理と課題 —当該地域における新規就農者3者の事例研究を通じた分析— (共著)

学会発表 (国内外)

- 浦野 研 ・Investigating Changes in Self-Assessed Spoken English Proficiency in a Three-Week Study-Abroad Program / The 60th RELC International Conference
- 春日 賢 ・ドラッカー経営学と「利益」—経営哲学としてのマネジメント—/経営哲学学会
- 川津 大樹 ・サステナビリティ開示に関する基準開発の相違点—ISSBとSSBJにおける質的特性の比較検討—/日本会計研究学会
- 佐藤 淳 ・特異値操作を利用した価格規定因に関する授業/日本教授学習心理学会
- 進藤 将敏 ・“普通じゃない描き方”が新しいアイデアを生む？非標準型の描画と創造性/日本認知心理学会
- 菅原 浩信 ・ふれあいサロン間のネットワーク化に向けた取り組みの現状と課題/日本NPO学会
・アクティブ・ラーニングにおける参加学生のモチベーションの維持・向上/日本地域政策学会
・北海道町村部のふれあいサロンの参加者における満足度の向上/実践経営学会
・サービス・ラーニングにおける担当教員の関与のあり方/地域活性学会
・北海道都市部のふれあいサロンの参加者における満足度の向上/非営利法人研究学会
・無人駅を活用したカフェによる地域コミュニティの活性化/実践経営学会東北・北海道合同支部会
- 鈴木 修司 ・Peanuts effectにおける不確実性の影響/日本心理学会
- 中村 暁子 ・Strategizing as the Process Constructing Regional Institutions : A Case Study of a New Boutique Winery in Japan (共同発表) / The 38th ANZAM (Australian and New Zealand Academy of Management)
・Women's Identity as Both Entrepreneur and Wife in Japan: Case Studies in New Boutique Winery in Hokkaido (共同発表) / Standing Conference on Organizational Symbolism 2025
・Beyond Western-Centric Frameworks of Gender and Organizations: Gender and Diversity in Japan (共同発表) / Standing Conference on Organizational Symbolism 2025
・シンポジウム：仁木町ワイン産業の競争優位：新規参入者の現状と認識 (共同発表) / 経営戦略学会
- 花塚 優貴 ・The precuneus and posterior cingulate gyrus relate to the temporal orientation in Alzheimer's disease. / 日本神経学会
・楔前部および後部帯状回はアルツハイマー病における時間認知障害に関与している (共同発表) / 日本神経心理学会

経営学部教員・職員一覧 [2026年度]

教員

[担当科目の属性]

組…組織・マネジメント

心…心理

戦…戦略マーケティング

英…英語

会…会計・ファイナンス

体…体育

情…情報

※教員は50音順での掲載

- ① 主な担当科目
- ② 研究テーマ
- ③ 在学生・保護者に向けて

組



教授

石嶋 芳臣 Yoshimi Ishijima

- ① 企業論／コーポレート・ガバナンス
- ② 株式会社における所有と支配・統治に関する比較制度論的研究
- ③ 冷徹なビジネスの世界にこそ、信頼やコミュニケーションが不可欠である点を理解し、如何に自分があるべきか、何をすべきかを学んで欲しいと思います。

組



教授

大石 雅也 Masanari Oishi

- ① 人的資源管理／キャリア・マネジメント
- ② 企業の資源管理／キャリア・マネジメント
- ③ 「人的資源管理」が専門ということで、学部生のキャリア教育や就活支援に関する業務を担うことが多く、講義では「サラリーマンの働き方」を中心に話しています。

組



教授

春日 賢 Satoshi Kasuga

- ① 経営学説史／現代マネジメント理論
- ② 企業社会の特質と展開、マネジメントの社会的あり方に関する研究
- ③ 経営学でもっとも重要なのは、諸「知識」を単なるスキルで終わらせず、総合・応用して自分なりの「知恵」にすることです。未来を見据え、日々活かしていきたいと思います。

組



教授

近藤 弘毅 Hiroki Kondo

- ① 経営史／経営システム
- ② 地域企業の独自能力の開発、進化論的パースペクティブ
- ③ 経営学は、企業や組織という人間が生きて最も長く付き合う仕組みについて学ぶ学問です。経営学を学ぶことで人生の大きな部分を良くすることができるはずだと。

組



教授

佐藤 大輔 Daisuke Sato

- ① 経営管理Ⅱ
- ② 組織における創造性に関する研究
- ③ 学生のみならずには、大学生で「勉強」とは異なる「研究」を知り、常識を超えたく望む力強い社会人になってほしいと思います。

組



教授

菅原 秀幸 Hideyuki Sugawara

- ① 国際経営／グローバル・ビジネス
- ② 途上国貧困層の課題をビジネスで解決するアプローチを研究。
- ③ グローバル時代と言われる今日、世界を視野にいて、共に悩みに汗をかきましょう。

組



教授

菅原 浩信 Hironobu Sugawara

- ① 非営利事業論／公共経営論
- ② 民間非営利組織や公企業のマネジメント、地域活性化に向けたビジネス、コミュニティや地域サロンのマネジメント、まちづくり組織や地域プラットフォームのマネジメント
- ③ ただ「考える」だけでなく、「調べる」「考える」「まとめる」「伝える」を重視し、「卒業してから役に立つ」教育をしてくつもりです。

組



准教授

中村 暁子 Tokiko Nakamura

- ① 経営組織／組織文化
- ② 組織とジェンダーに関する研究
- ③ 学生の皆さんが学問をすることの楽しさを感じていただけるよう、お手伝いをさせていただきます。好奇心を持ち、目の前で起る様々な現象に対して感じる疑問を、一緒に探究していきたいと思います。

組



准教授

真木 圭亮 Keisuke Maki

- ① 経営学概論Ⅰ・Ⅱ
- ② 組織における流行現象に関する研究
- ③ わからない現象、そしてそれをわかない自分に直面する「学び」という行為は本来に苦しいものですが、だからこそ楽しく学ぶことができる良いテーマ、良い仲間に出会えます。それは一生の宝物になります。

戦



教授

伊藤 友章 Tomoaki Ito

- ① マーケティング／マーケティング戦略
- ② 競争優位の説明モデルの探究
- ③ 主体的に学ぶということの意味を考えていきましょう。4年間の学びを充実したものにしていくには、最後はやはり学生さん自身がその気になれるかどうかにかかっています。

戦



教授

今野 喜文 Yoshifumi Konno

- ① ベンチャー経営／経営戦略Ⅰ・Ⅱ
- ② イノベーション ベンチャー・中小企業
- ③ 学生にとって、楽しく、わかりやすい講義を心がけています。宜しくお願い申し上げます。

戦



教授

下村 直樹 Naoki Shimomura

- ① マーケティング・コミュニケーション／広告論
- ② 広告戦略、および、広告効果に関する実証分析
- ③ 4年間という限られた時間ですが、生きていく中で無駄ではなかったと後から思えるよう、有効に使ってください。

戦



准教授

金 倫廷 Yunjeong Kim

- ① 企業行動／日本企業論
- ② 組織アイデンティティとアイデンティフィケーションに関する研究
- ③ 経営学部の教員として、学生のみなさんが常に問題意識をもって多様な視点から「物事を自ら考え、それを他人に伝え、行動する」ことの助一助となるよう努めていきたいと思います。よろしくお願いします。

戦



講師

福地 駿乃介 Syunosuke Fukuchi

- ① 流通システム／流通経営
- ② 流通チャネル戦略に関する研究
- ③ 多様な経営現象を観察・分析するためレンズとしての理論、その適用を通じた課題解決方法を学生の皆さんが習得し、将来の活動の一助となるよう努めてまいります。

会



教授

赤石 篤紀 Atsunori Akashi

- ① ファイナンス／コーポレート・ファイナンス
- ② 新興企業の財務構造
- ③ 授業や演習での学びを通じて、将来、より多くの判断材料、より多くの選択肢をもてるようになってもらいたいと考えています。

会



教授

今村 聡 Satoshi Imamura

- ① 原価計算／工業簿記
- ② 短期損益計算論
- ③ 大学生生活を満喫していただいたいのですが、やはり勉強を忘れないでください。

会



教授

庄司 樹古 Tatsuhisa Shoji

- ① 簿記Ⅰ・Ⅱ
- ② 会計基準の基礎概念に関する研究
- ③ 武者小路実篤の言葉「もう一步。いかなる時も自分は思う。もう一步。今が一番大事なときだ。もう一步。」学生時代における「もう一步」を共に歩みましょう。

会



講師

川津 大樹 Daiki Kawazu

- ① 財務会計／財務分析
- ② 財務会計の概念フレームワーク、サステナビリティ報告
- ③ 会計学や経営学は、実際の企業行動・ビジネスが対象分野です。講義では、実務と理論の繋がり意識しながら学んでいただきたいと思います。

情



教授

天笠 道裕 Michihiro Amagasa

- ① 経営情報／システム戦略
- ② 経営情報システムの設計と開発
- ③ 人生においては、様々な事柄が生じると考えられます。それらと正面から対峙するにあたっては人間力が重要となります。これらを焦らず丁寧に一緒に醸成しましょう。

情



教授

上田 雅幸 Masayuki Ueda

- ① 情報処理／情報科学
- ② “サービス”としてみた意思決定支援に関する研究
- ③ 大学は、様々なことについて学ぶことができる場所です。現在関心を持っていることだけでなく、いろんなことに興味を持って取り組んでみてくだい。



教授

関 哲人 Norihito Seki

- ① 経営統計学概論I,II / 情報システム、データベース
- ② 組織における情報システム活用の実態調査
- ③ 統計学などの情報の科目を担当しております。学んだことを自分自身にどう役に立てていくかを、学生に意識してもらおうことを、心掛けております。



教授

福永 厚 Atsushi Fukunaga

- ① 経営科学 / オペレーションズ・リサーチ
- ② 組織における情報コミュニケーションとマルチメディア技術の活用
- ③ ネット社会は危険に満ち溢れています。不審なメールは開かない、不意な発言はしない、セキュリティ対策を万全にするなどして被害にあわないようにしましょう。



教授

浅村 亮彦 Akihiko Asamura

- ① 教育心理学I,II
- ② 空間の理解・記憶過程に関する認知心理学的研究
- ③ 教職課程担当教員として、教員免許取得を目指す全学の学生を指導しています。教職への道は大変ですが、その夢をサポートできるような指導を心がけています。



教授

佐藤 淳 Jun Sato

- ① 学習心理学 / 問題解決の心理学
- ② 抽象的知識の獲得とその使用に関する心理学的研究
- ③ 大学ではぜひ「学問」をしましょう。私たちは、次代の担い手たる皆さんに、持てるかぎりの「知識」と「文化」を提供します。もれなく受け取ってください。



准教授

進藤 将敏 Masatoshi Shindo

- ① 認知心理学 / 生涯発達心理学
- ② 幼児期における描画発達と認知機能の関連
- ③ 授業では乳幼児期から高齢期まで幅広い対象の心理について、初学者でも分かりやすいように解説しています。心理学の知識を増やして人生をより豊かにしましょう。



教授

鈴木 修司 Syuji Suzuki

- ① 行動科学 / 行動意思決定論
- ② 意思決定に関する比較心理学的研究
- ③ こんなには、経営学部です。高校までとは違う勉強をしたい人、自分の力を伸ばしたいと思っている人、北海道以外にも興味のある人。そんな人を探しています。



教授

田中 勝則 Masanori Tanaka

- ① 人間関係論
- ② 心身の健康の維持・増進・回復のための臨床心理学的研究
- ③ できない理由よりも、「どうすればできるかな?」と前向きに物事を考える人材の育成に努めていければと考えています。全学の学生相談のカウンセラーも担当しています。



准教授

中川 裕美 Yumi Nakagawa

- ① 社会心理学I・II
- ② 社会集団の協力行動に関する研究
- ③ 大学生活で学んだ知識が「いつ役立つか?」には個人差があります。卒業後数年、数十年先かもしれません。その時がくるまで皆さんの心に残る知識をお伝えしたいと思います。



講師

花塚 優貴 Yuki Hanazuka

- ① 心的情報処理論 / 適応の心理学
- ② 豊長類における非言語的な認知機能研究
- ③ 講義で教わる内容を全て理解することは難しいですが、それらを日常生活と結びつけて考えられたとき、より充実した人生を送ることが出来ます。そのような場面1コマでも多く作れる機会を提供していけたらと考えています。



教授

増地 あゆみ Ayumi Masuchi

- ① 組織心理学 / チームの心理学
- ② リスク認知と意思決定に関する心理学的研究
- ③ 新しく何かを始めるのに遅すぎることはないと思います。社会の動きに目を向けながら、考えるだけではなく、是非、具体的な行動に移してほしいです。



教授

青木 千加子 Chikako Aoki

- ① オーラルコミュニケーション
- ② インタラクションと言語習得との関連性
- ③ 学生みなさんの健やかな学生生活と学業の充実を支援していきたいと思っています。



教授

浦野 研 Ken Ueno

- ① 総合実践英語
- ② 二言語習得。特に大人と子どもの持つ言語能力の相違点の解明
- ③ 経営学部の総合実践英語・ビジネス英語科目は仕事も含め日常生活の中で英語を使えるようになることを目指しています。



准教授

中津川 雅宣 Masanobu Nakatsugawa

- ① 総合実践英語・英語演習
- ② 応用言語学を専門とし、英語教育を中心に言語政策や多言語環境における言語使用の実態を研究しています。
- ③ 英語教育を専門としており、教室内にとどまらず、実社会を意識した活動を通して、使える英語と考える力の育成を目指しています。



教授

マツネ・マーク Mark Matsune

- ① 総合実践英語
- ② CALLソフトウェアの実践と評価および言語学習について
- ③ 本学部の「総合実践英語」では、あらゆる授業で必要となっている「コンピューターを利用した学習」を取り入れ、より実り多いものにする工夫をしています。



准教授

水島 梨沙 Risa Mizushima

- ① 総合実践英語
- ② L2語用論、特にポライトネスを意識した英語コミュニケーションの実践教育
- ③ 日常会話からビジネスシーンまで幅広く役立つ、対人関係に配慮した英語コミュニケーションについて、異文化理解の視点とともに学んでいきましょう。



教授

伊熊 克己 Katsumi Ikuma

- ① 体育実技
- ② ライフスタイルと健康に関する研究
- ③ 日頃、私はライフスタイル(生活習慣)と健康の関わりについての調査研究をしています。健康生活を維持するためにも望ましい生活習慣を継続していきましょう。



教授

田中 昭憲 Akinori Tanaka

- ① 体育実技
- ② 思春期の子どもの疾走能力について
- ③ 活動的な生活を送ることは、心身の健康にとっても重要です。体育実技、健康とスポーツの科学I・II(講義)を通じて、身体活動の正しい知識と技能を身につけましょう。



准教授

吉田 充 Makoto Yoshida

- ① 体育実技
- ② 骨格アライメントとスポーツパフォーマンスの関係、スノースポーツ指導法、および野活動経験による心理的効果、メンタルトレーニングの効果
- ③ 卒業時に「この4年間の積み重ねが生きている」と自信を持って言えるよう、新たなステージで一緒にがんばりましょう。

職員



事務長

岡本 泰典 Yasunori Okamoto

- ⑤ (経)営学部の在学中に、多様な分野の学問を学び、アルバイトなどで社会経験を積んで、将来の糧とさせていただきます。



係長

松枝 郁実 Ikumi Matsueda

- ⑤ Inspired by Business Administration! たくさんの着想を得てチャレンジを続けたいので、いっ応援しています!



主任

土井 緋佳留 Hikaru Doi

- ⑤ (英)語・組織・会計・情報・心理学等、経営学の基礎を幅広く身に付けて、将来の選択枝を広げましょう。



主任

新田 遼 Ryo Nitta

- ⑤ (意)欲的に大学生でしか経験できないことに取り組み、自分を成長させる大学生活にしてください。



書記

藤原 豪士 Goshi Fujiwara

- ⑤ ぶぶぶぶに限度はありません。楽しく学び、多くの経験を通して充実した4年間を過ごせるよう全力でサポートします!



事務員

布川 幹子 Mikiko Nunokawa

- ⑤ じに学生生活が送れるよう、窓口でアシストします。

【資格取得】公認会計士試験、現役合格

学長賞が授与されました

本年度の公認会計士試験において、伊藤遼紀さん（2021年度入学）、辻悠さん（2023年度入学）が最終合格しました。

2025年度における公認会計士の最終合格率は7.4%。過去10年で最も低い合格率の中の合格でした。両名には、その努力を称えて学長賞が授与されています。



森下宏美学長から辻悠さんに学長賞が授与されました。伊藤遼紀さんは都合により欠席。



学長賞授与の後、出席者の皆さんと記念写真

科学研究費補助金

科研費
KAKENHI

2026年度の新規採択（研究代表者）

田中 勝則 教授 ● 主たる担当科目：人間関係論
基盤研究(C)

【研究課題】

「大規模言語モデルへの心理的依存測定法の開発および依存促進要因の検討」

- 課題番号：26K06600
- 期間：3年
- 配分総額：442万円

中川 裕美 准教授 ● 主たる担当科目：社会心理
若手研究

【研究課題】

「内集団の成功予期に基づく見返りを期待しない協力」

- 課題番号：26K16859
- 期間：3年
- 配分総額：377万円



田中 勝則 教授



中川 裕美 准教授

退職

石井晴子教授・村上始准教授

2025年3月末をもって、石井晴子先生（英語）、村上始先生（マーケティングリサーチ・消費者行動）が退職されました。

石井先生は定年退職、村上先生は関西大学ビジネスデータサイエンス学部への転職となります。



石井 晴子 教授



村上 始 准教授

最新刊情報

『人を動かす経営学』

ナツメ社 2025年5月刊行



佐藤 大輔 教授



実践家のための「使える」経営学とはどんなものなのでしょうか。一般に大学で学ぶ学術としての経営学は妥当性や普遍性に優れていますが、実際にビジネスに関わる人から見ると、それをどうやって使えばいいのかが分かりにくいところもあります。もちろん、そうした学術的知見を実践に活用できるように学ぶことが大学に来ることの意味でもあるのですが、それを一冊の書籍で、しかも誰でも分かるようにやってみようというのがこの本の狙いです。

本書は、自分の仕事に役立つリアルな知識を得ることを目標に、平易な表現と分かりやすい具体例で解説を行っています。経営学や経済学などの前提知識なしに、日常的な出来事を経営学的に見る力を養うことができる入門書になっています。同時に、経営学の全体像を俯瞰して見渡すことができるように工夫もしました。目の前にいる人を直接、すぐに動かすためにどうしたらいいのか。不正やサボりを起こす人にどう対応すればいいのか。経営学の各分野をマップで表すとどんな風になるのか。こうした素朴な問いに対する答えを考えていく流れで話が進んでいきます。「経営学ってどんな学問だったっけ?」という疑問を持つ人が、一から経営学を見直すのにぴったりの本だと思います。

表紙



ゼミなび（天笠ゼミ）



海外総合実習（ハワイ大学マノア校）

卒業入学



2025年度卒業式



2026年度新入生

▶バックナンバー
<https://ba.hgu.jp/publication/passages/>